

# 多久家文書を読みなおす

東京大学史料編纂所共同利用・共同研究拠点特定共同研究「佐賀藩家臣多久家史料の研究」  
プロジェクトグループ成果報告シンポジウム

**2015年11月15日（日）午後1時～4時30分**

**会場 多久市東原庁舎（多久市多久町東ノ原1843-3**

**※多久聖廟隣りー裏面に案内図あり）参加費無料**

- 報告1** 志佐喜栄(多久市郷土資料館)  
「多久家文書のあらまし」
- 報告2** 野口朋隆(昭和女子大学)  
「佐賀藩における家老の成立」
- 報告3** 大平直子(佐賀市教育委員会)  
「竜造寺氏の佐賀城から鍋島氏の佐賀城へ」
- 報告4** 本多美穂(佐賀県立図書館)  
「『読み直し』の技法—無年号文書の年次比定—」
- 報告5** 松田和子(佐賀県立図書館)  
「めでたき春一寛永16年正月勝茂親子の將軍御目見え—」
- 報告6** 清水雅代(佐賀県立図書館)  
「焼物師の統制に関する鍋島勝茂書状の年次比定について」
- 報告7** 及川 亘(東京大学史料編纂所)  
「鍋島勝茂書状の封式について」
- 報告8** 藤井祐介(佐賀県立佐賀城本丸歴史館)  
「多久家文書にみる天皇即位と大名の対応」
- 報告9** 佐藤孝之(東京大学史料編纂所)  
「『御上洛』情報の真偽」
- 報告10** 小宮木代良(東京大学史料編纂所)  
「肥前杵島郡白石地域と鍋島勝茂」
- 報告11** 大園隆二郎(多久古文書の村)  
「有田における高原市左衛門尉」

\*東京大学史料編纂所の特定共同研究「佐賀藩家臣多久家史料の研究」(代表小宮木代良)では、2014年度から、佐賀県を中心とする研究者との共同作業により、多久市郷土資料館所蔵の多久家史料を分析しています。本シンポジウムでは、研究会における年次比定等の具体的な研究の進め方を紹介しながら、近世初期佐賀藩の重臣であった多久家に伝来する史料から見えてきた佐賀藩成立期の新知見を中心に報告します。

主催 特定共同研究「佐賀藩家臣多久家史料の研究」プロジェクト

協力 多久市教育委員会

問合せ先 shiryoukan@city.taku.lg.jp 多久市郷土資料館 志佐 TEL0952-75-3002

## アクセス案内

【JR】唐津線 多久駅下車  
タクシー約10分

【お車の際】

